

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所neo kids

支援プログラム

作成日

R7

年

1月

1日

法人（事業所）理念		みんなで子どものために									
支援方針		日常生活における身の回りの行動（身辺自立）や集団生活におけるルールを学び、一人ひとりが成長していけるようサポートする									
営業時間		火～金 土	9 9	時 30	分 00	から 18 18	時 30	分 00	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	こどもたちの健康状態を観察し必要な対応をする。身の回りの整理整頓、トイレ、手洗いなどの基本的な生活スキルが身に付くよう、一人ひとりの特性に合わせての支援を提供する。 ①健康状態の維持・改善 ②生活のリズや生活習慣の形成 ③基本的な生活スキルの獲得									
	運動・感覚	日々の療育の中で、日常生活に必要な基本的姿勢を保持するトレーニングを行う。運動遊びを通じて、身体と感覚を自然に活用できるような支援を提供する。 ①姿勢と運動・動作の向上 ②姿勢と運動・動作の補助手段の活用 ③保有する感覚の総合的な活用									
	認知・行動	創作活動やリトミックなどを通じて、視覚・聴覚・触覚等の感覚を伸ばす。様々な教材を用いて、数や形、色などをとらえたり、利用したりすることができるような支援を提供する。 ①認知の発達と行動の習得 ②空間・時間・数などの概念形成の習得 ③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得									
	言語 コミュニケーション	フラッシュカードなどを用いて、具体的な事物や体験と言語を結びつけるとともに、言語によって自発的に伝えることができるようにする。様々な教材を活用して文字を学び、話し言葉や文字・記号などを用いてコミュニケーションできるような支援を提供する。 ①言語の形成と活用 ②言語の受容及び表出 ③コミュニケーションの基礎的能力の向上 ④コミュニケーション手段の選択と活用									
	人間関係 社会性	ソーシャルスキルトレーニングによって、ルールや他者との関わり方、自分と相手の気持ちなどを考え、集団活動に参加できるような支援を提供する。 ①他者との関わり（人間関係）の形成 ②自己の理解と行動の調整 ③仲間づくりと集団への参加									
家族支援		児の援助だけではなく、家族が育児に前向きになれるような関わり、保護者自身が子どもの特性に応じた褒め方や関わりができるようになるような支援を提供する。①家庭内の困りごとに対する助言・サポート ②延長支援				移行支援		乳児期・幼児期（前期後期）・学童期（小学校就学）における環境変化に対応した発達支援を提供する。			
地域支援・地域連携		保育施設・医療機関・市区町村・児童相談所・保健所などの関係機関と連携をとり、地域の子育て環境を整える。地域と連携をとることで子どもの事業所卒業後も社会で安心して生活できるような支援を提供する。				職員の質の向上		一人ひとりの児童に対する担当者会議の実施 月に1回の社内研修			
主な行事等		月に1回・・・お誕生日会（クッキング） イベント・・・クリスマス会・初詣・花見・節分・発表会など									